



## 旭川家具と世界

作り手の層の厚さも伺われ、場内では日本人客はもとより、海外からの訪問客も見かけましたし、旭川には積極的に海外展開をされている事業者もおられるなど、世界レベルのクオリティを感した次第です。

さて、家具というとなんとなく国・地域によって特徴や好みがわかれ、うな印象を持っています。たが、グローバルな取引は年々拡大しているようです。以下では、国連の統計を使って、世界における家具の輸出入動向を見てみました(なお、この場合の家具は木製家具に限ります)。

旭川家具は、いうまでもなく、日本の家具5大産地の一つに数えられます。このことは赴任前から存じ上げていました。が、今にして思えばそれは断片的な知識に過ぎず、実感を伴って理解したのは、当地で旭川デザインセンターなどの展示場を訪れたときです。その洗練されたデザインと機能性を兼ね備えた数々の家具・木工製品のすばらしさに引き込まれました。また、歴史的には難しい局面もあったと思いますが、多くの事業者の展示品からは旭川における

表1: 家具の輸出上位10か国

		単位: 百万米ドル									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2022	世界計	222,927	80,665	14,107	13,277	12,890	11,291	10,257	7,169	5,069	4,516
	(世界シェア)	(36%)	(6%)	(6%)	(6%)	(5%)	(5%)	(3%)	(2%)	(2%)	(2%)
2012	世界計	155,638	56,187	12,117	10,778	8,575	7,169	5,802	3,844	3,106	2,693
	(世界シェア)	(36%)	(6%)	(6%)	(6%)	(5%)	(5%)	(3%)	(2%)	(2%)	(2%)
2002	世界計	67,606	8,846	6,701	5,763	5,019	4,826	3,429	2,895	2,420	2,083
	(世界シェア)	(13%)	(13%)	(13%)	(13%)	(13%)	(13%)	(13%)	(13%)	(13%)	(13%)

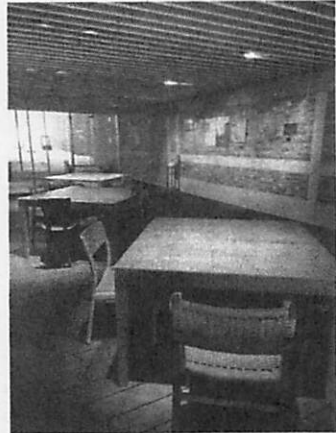
表2: 家具の輸入上位10か国

		単位: 百万米ドル									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2022	世界計	222,903	72,816	18,269	11,418	10,808	8,152	7,092	5,248	4,251	3,891
	(世界シェア)	(33%)	(8%)	(5%)	(5%)	(5%)	(4%)	(3%)	(2%)	(2%)	(2%)
2012	世界計	144,668	38,631	13,213	8,419	7,407	6,910	6,675	3,466	3,350	3,226
	(世界シェア)	(27%)	(27%)	(27%)	(27%)	(27%)	(27%)	(27%)	(27%)	(27%)	(27%)
2002	世界計	72,262	23,888	6,783	4,742	4,164	3,918	3,175	2,187	1,961	1,710
	(世界シェア)	(33%)	(33%)	(33%)	(33%)	(33%)	(33%)	(33%)	(33%)	(33%)	(33%)

(出所) United Nations Department of Economic and Social Affairs, International Trade Statistics Yearbook

す。このほか、ベトナム、ポーランド、メキシコなど、家具に限らずグローバルに企業の生産拠点が多くおかれた国々が一つのグループとして存在しています。このグループでは、コスト面の優位性や消費地への近さなどが強みになっているように思われます。これに対し、第2位のドイツ、第3位のイタリアなどがもう一つのグループとして存在しており、ブランド力などに支えられるも、国境を超えた需要があるように思われます。

次に、表2で輸入について見てみます。直近年の上位10か国



総合庁舎の展望フロアに設置された旭川家具

し、その中の家具・北海道プロジェクトの導入も、道産材の使用を推進するなど、継続的に付加価値を高めていきます。ブランド化とともに世界を舞台に活躍の幅を広げていく可能性は、大いにありそうです。

さて、当地では、JR旭川駅構内や旭川市役所総合庁舎といった身近な場所に旭川家具が設置されており、誰でも利用できます。地元の方に愛されることはもちろんですが、内外の観光客が増える中、単なる知識ではなく、直接触れる機会を「実感」してもらいたい。大切な場だと思えます。(毎月第四週に掲載します)

【足立祐一(あだちゆういち)】一九七三年、大分県出身。九州大学経済学部卒。金融市場局企画役、国際局企画役、ドイツ・フランクフルト事務所長、調査統計局地域経済調査課長を経て、二〇二三年、旭川事務所長に就任。